

「地域防災の日」の四日、県内一斉に各自主催の防災訓練を行い、巨大地震が突然発生した際の応急対応行動を身に付け、防災意識の高揚を図った。このうち、富士市広見地区の広見町一町内（下條重雄町内会長）では広見小グラウンドを会場に発

## アマチュア無線 非常通信協力会 電波で送信訓練 など 動画を 送信訓練

富士市アマチュア無線非常通信協力会は四日、広見小グラウンドでの訓練の動画（ＡＴＶ）および静止画像（ＳＴＶ）を、アマチュア無線の電波に乗せて富士市役所の

災害対策本部に送信する訓練を実施した。

同小屋上にカメラを設置し、初期消火訓練や放水訓練の様子を本部に送信。従来の音声通信だけでなく、リアルタイムの動画により現場の実態をリアルに伝えた。

来年九月の防災訓練は同小グラウンドが会場型訓練の会場となることから、同会ではその訓練を兼ねて実施。併せて各公民館に設置しているアマチュア無線の点検も行った。



アマチュア無線の電波で映像を送信する協力会メンバー 広見小の屋上